

冠松次郎氏におくる詩

室生犀星

青空文庫

つるぎ
 劔岳、冠松、ウヅ長、熊のアシアト、雪溪、前劔
こな
 粉ダイヤと星、凍つた藍の山々、冠松、ヤホー、ヤホー、

らうか
 廊下を下がる蜘蛛と人間、

冠松は廊下のヒダで自分のシワを作つた。

冠松の皮膚、皮膚に沁みる絶壁のシワ、

冠松の手、手は巖を引ッ掻く。

冠松は考へてゐる電車の中、

黒部峡谷の廊下の壁、

廊下は冠松の耳モトで言ふのだ、

松よまつ 冠松よまつ、

冠松まつは行く、

黒部くろべの上廊下うは、下廊下した、奥廊下おく、

鐵てつでつくつたカンヂキをはいて、

鐵てつでできたへた友情いうじやうをかついで、

劔岳つるぎ、立山たてやま、双六谷たに、黒部くろべ、

あんな大きい奴やつを友ともだちにしてゐる冠松まつ、

あんな大きい奴やつがよつてたかつて言いふのだ、

冠松まつくらゐおれを知しつてゐる男はないといふのだ

あんな巨大な奴の懷中で、

粉こなダイヤの星ほしの下したで、

冠松まつは躰まをかいて野營やえいするのだ。

青空文庫情報

底本：「紀行とエッセーで読む 作家の山旅」ヤマケイ文庫、山
と溪谷社

2017（平成29）年3月1日初版第1刷発行

底本の親本：「読売新聞」

1930（昭和5）年8月17日

初出：「読売新聞」

1930（昭和5）年8月17日

入力：富田晶子

校正：雪森

2020年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

冠松次郎氏におくる詩

室生犀星

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>